

国際連携：アジア諸国との連携



アジア極地科学フォーラム (AFoPS) (Asian Forum for Polar Sciences)

2000年結成

日本、中国、韓国、インド、マレーシア(加盟国)
ベトナム(オブザーバー)

(今後、タイ、インドネシア、フィリピン、モンゴル、台湾等に呼びかけ)

極域科学における国際協力の重要性を認識し、各国共通の関心事項を推進することを目的に、1)アジア諸国の極地共同研究活動の基盤の提供、2)アジア極地活動の国際極域社会への発信、3)アジア諸国の極地研究への奨励、をメンバー国が連携して取り組む。



南極観測未参加国のJARE同行

タイ王国の研究者等 2名を第51次隊の同行者として受け入れた。南極での調査の様子はタイ国内でも報道され、Post Today紙の2010年の5件の中に「タイ女性初南極研究への参加」として取り上げられた。



ドロンングモードランド航空ネットワークについて

- 南極ドロンングモードランド地域において観測活動を行う各国(11カ国)の南極観測の実施者がケープタウン(南アフリカ)とドロンングモードランド地域間の航空機輸送について協力を行っている。(2003年より)
- 航空機の運用については、ロシア北極南極研究所傘下のINTAARI社が行っており、ケープタウンからノボラザレフスカヤ基地(ロシア)への輸送は大型航空機が、各国基地間の輸送には、スキー付きの小型航空機が活用されている。

主な航路

